

奥会津だより



二十四節気・小満の夕刻
からむし畑に火が点けられる
不揃いの芽を揃え、害虫や雑草を駆除する火の波が広がる
火入れの時期を覚えてくれるのは
村の畑に立つ一本の桃の 白い花の開花



写真：菅家博昭

※からむし：夏織物の素材となるイラクサ科の宿根草

今と昔の祖母

只見町立只見中学校 一年 平野 結菜



この写真は、私の祖母が七歳の時の写真です。昔は、素足で田植えを行っていたため、ヒルや蚊に刺され辛い思いをしたそうです。

また、小さい子も一緒に家族総出の大仕事だったそうです。雨の日は、カッパなどもないので、濡れながら田植えをして辛かったけど楽しみもありました。それは、お昼時に田んぼでおにぎりに、たくあんをおかずにして食べたことだそうです。

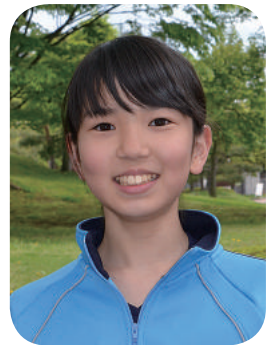
そして、自分の家の田植えが終わったら、他の家に手伝いに行ったり、手伝ってもらったりしたそうです。このように、お互いに助け合うことを「結」と言うそうです。

田植えがすべて終わると「マグワアライ」が楽しみだったそうです。「マグワアライ」というのは、田植えに使った、クワやカマ、田植えで汚れた服を洗った後の夜に、田植えが終わったお祝いに、ごちそうを食べるということです。それが楽しみだったそうです。

私は、この話を祖母に聞いて、今は便利な機械があるのでとても楽だけど、昔は、全て自分の力でやっていて、昔の人は、強いなと思いました。

取材ノート

祖母：平野 アヤ子さん
(昭和二十一年生 七十一歳)
孫：平野 結菜さん
(平成十七年生 十三歳)
[只見中二年]



Q：こちらへ来る途中、残雪がありました。春が来たなあ、と感じるのはどんなときでしょうか？
Aヤ子さん：山の木の根っここのころの雪が、輪っかに消えるのを見た時かな。

Q：昭和二十八年頃、裸足で田植えをしていたと話しておられましたか？
Aヤ子さん：あの頃はどこでも裸足で歩いてたから、足の裏も自然に強くなっていったのかなあ。大げがした、なんて話は無かったもの。

Q：田植えは、家族総出の大仕事だったのですか？
Aヤ子さん：小さい子は、苗をぶん投げる役目。植えている人に当たったり、泥がはねたりして、おこられたこともあったですよ。

Q：田んぼでお昼のおにぎりですが、「おにぎり」って言いましたか？
Aヤ子さん：作業で使った農機具を大事に扱う、ということだと思ふんだ。代かきで使ったエンジンやを洗ったり、農作業着を洗ったり…。そして、当時のごちそうをいただく、それが楽しみだった。「サナブリ」なんて言っていた。



Q：「マグワアライ」という行事が伝えられてきた意味はなんですか？
Aヤ子さん：作業で使った農機具を大事に扱う、ということだと思ふんだ。代かきで使ったエンジンやを洗ったり、農作業着を洗ったり…。そして、当時のごちそうをいただく、それが楽しみだった。「サナブリ」なんて言っていた。

Aヤ子さん：「ヤキメシ」、焼いてないのに「ヤキメシ」。それも大きい。海苔も塩も無し、たまに味噌がぬってあったかな。形は、丸いや少し丸いのがつぶれているのもあった。甘酸っぱい「たくあん」が美味かったなあ。でろっこついた手で食べたっけ…。

Q：屋根葺きも「結」でしたか？
Aヤ子さん：屋根葺きも「結」だった。リヤカーで山に行って、カヤ刈りなんてやったなあ。

Q：屋根を「くすくす」とも言うそうですが？
Aヤ子さん：そうそう「くすくす」「さしガヤ」のこと。屋根の傷んでいるところを補強するわけな。

Q：アヤ子さんは、戦後生まれですがアヤ子さん：戦後だけれど、不便なことはいっぱいだった。車なんかは、木材を運ぶトラックがたまたま通ると珍しかった時代。飛行機なんか飛んでたら空を見上げていた。

Q：「マグワアライ」という行事が伝えられてきた意味はなんですか？
Aヤ子さん：作業で使った農機具を大事に扱う、ということだと思ふんだ。代かきで使ったエンジンやを洗ったり、農作業着を洗ったり…。そして、当時のごちそうをいただく、それが楽しみだった。「サナブリ」なんて言っていた。

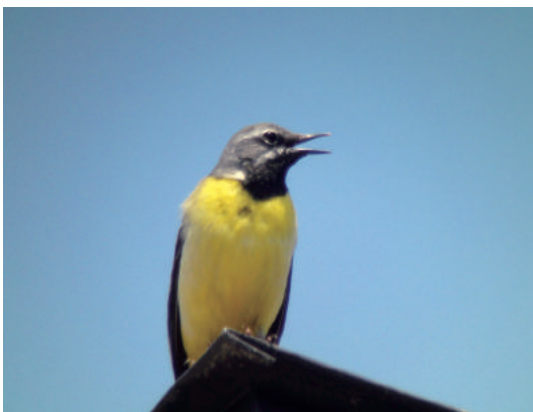
Q：田んぼでお昼のおにぎりですが、「おにぎり」って言いましたか？
Aヤ子さん：作業で使った農機具を大事に扱う、ということだと思ふんだ。代かきで使ったエンジンやを洗ったり、農作業着を洗ったり…。そして、当時のごちそうをいただく、それが楽しみだった。「サナブリ」なんて言っていた。

田植えを皆総出でやって、和気あいあい。隣からキヤキヤ…

奥会津の鳥

〈キセキレイ〉

写真・文：新国 勇



黄色い腹部が目立つので黄鶺鴒という。雪のない地域では一年中見られるが、雪国奥会津では春から秋まで生息する夏鳥。ツバメと同じく人家付近に巣をつくり子育てする。カラスやヘビという天敵に人間をポディガードとして利用している。「巣をとると火事になる」といわれ、奥会津ではたいせつにされる。

て声がする。赤ちゃんの泣き声がする。あの頃のほうが良かったなあ、と思うことがある。
Q：昔の写真を見ながらお孫さんと話をして、どうでしたか？
Aヤ子さん：昔の事を思い出しながら話をして、気持ちが高やかになったというかおだやかな気持ちになった。いいことを聞いてくれたな、と思った。
Q：結菜さん、ばあちゃんと話をして、印象に残っていることは？
結菜さん：ばあちゃん達のやってきた農作業は、今と全然ちがって大変だったんだなあ、という事です。
※祖母のAヤ子さんは、南会津町小立岩に在住
写真・文責：菅 敬浩



季節の風景

晴れた日の庭先に広げられた茹でたゼンマイ。揉んで、干して、揉んで、干して。太陽の恵みを閉じ込めた乾燥ゼンマイは、一年を通してハレの日の食卓を彩る。急峻な山での採取は危険だが、山菜の中で最も高価な換金食品となる。



奥会津の食材と料理

桜の花のごはん

炊きたてのご飯に、塩漬けの桜の花を刻んで混ぜ込み、刻んだクルミを散らすだけの簡単な料理。桜の香りに春の余韻を楽しむ。クルミが味わいを深めてくれる。八分咲きの花を摘んで塩漬けにしておき、来年早々から開花時期まで桜湯やドレッシングなど種々の料理に用いる。



草・樹を使って

タケノコの皮に梅干

タケノコの皮の産毛をこすって梅干を入れ、三角に畳んだだけの子どもの頃のおやつ。すっぱいだけの梅干も、三角の角から吸っているとなんとなく甘く感じられた。酸でうっすらと染まってくる薄紅は春の色だった。

奥会津の植物 〈タニウツギ〉 写真・文：新国 勇



きれいな花だが、家のなかに入れることは拒まれる。お蚕さまが嫌うからという。語源は、谷に咲くウツギ、またはタニがつくウツギとも。なだれ斜面に好んで生える。細かく刻んだ葉を米と炊き込んで糧飯とした。



奥会津の暮らし〜室内

写真・文 竹島善一

障子を通した柔らかい光が穏やかに室内を包む。多様な障子や仕切り戸が作り出すパターンは美の意匠となり、その洗練は現代のアートをしのいでいる。障子の柔と手斧削りの荒々しい柱の剛とが調和して、ここには無駄のない美がある。
なげしに掛けられたジャンパーが人の息吹を感じさせる。
(昭和五十七年八月 三島町西方)

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「でろっこ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、金山町の「マタビザル」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2018年6月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号105号で発表いたします。



◎103号「おもしろえ」の答え：おもしろい

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



- 小学生の頃、弁当を持って友達と堅雪わたりをしたことを思い出しました。(北海道：I.Yさん)
- 「暮らしの道具」の写真を拝見すると、待ちかねた春が人々の表情もなにかしら明るく、人も自然も春の喜び一杯ですね。(岡山県倉敷市：N.Hさん)
- 会津に生まれ会津に育ってよき年齢になりました。会津がぎゅっと詰まっている「奥会津だより」楽しみに読んでいます。会津はやっぱりいいですね!(会津若松市：H.Kさん)
- 二ヶ月に一度がとても楽しみです。いつもA3の額に入れ玄関に飾っています。(矢板市：I.Sさん)
- 県外に住む「ふるさと南会津会」会員です。「奥会津の食材と料理」で紹介された料理を作ってはおいしく楽しんでいます。(埼玉県志木市：I.Mさん)
- 毎回表紙に感動。わずか一枚しかないのに中身の濃さには感動の連続です。(会津坂下町：S.Kさん)

奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津ギフトセット

奥会津の手作りの良さと
おいしさが詰まった
オリジナルギフト

3種類

単価
各 5,000円 (送料別)

調味料セット

- ・こうじ味噌
- ・えごまみそ
- ・蕎麦味噌
- ・野菜オイル
- ・ブルーベリーソース



甘いものセット

- ・奥会津金山赤カボチャ
塩ジャム
- ・じゅうねんゆべし
- ・ニホンミツバチの飴
- ・ブルーベリージャム



辛いものセット

- ・会津地鶏グリーンカレー
- ・会津地鶏キーマカレー
- ・青唐焼き辛子みそ
- ・しいたけと青唐辛子の
甘辛煮



各50セット限定

購入方法 ネット販売

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/sozaihiroba/>

奥会津イベント情報

5月下旬～7月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
5月26(土)～27日(日)	只見山菜満喫号	只見町	只見駅前	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月2日(土)	うつくしま・みずウォーク2018赤べこの里やないづ大会	柳津町	道の駅会津柳津	柳津町観光商工班 ☎0241-42-2114
6月2(土)～17日(日)	帝釈山・台倉高山「オサバ草まつり」	檜枝岐村	馬坂峠登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
6月3日(日)	第50回志津倉山 山開き	三島町	志津倉山登山口	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	山菜まつり	只見町	塩沢公民館前広場	塩沢観光わらび園 ☎090-8424-4030
蒲生岳 山開き	只見町		蒲生集会所施設「雪の里」	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月9(土)～10日(日)	第32回ふるさと会津工人まつり	三島町	三島町生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0242-48-5502
	てわっさの里まつり		宮下地区	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
6月10日(日)	からむし市	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ織姫交流館	昭和村からむし振興室 ☎0241-57-2116
	会津朝日岳 山開き	只見町	赤倉沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5249
6月16日(土)	尾瀬国立公園田代山 山開き	館岩地域	田代山猿倉登山口	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	ひめさゆり祭	南郷地域	会津高原南郷スキー場駐車場	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
6月17日(日)	只見町雪むらまつり	只見町	只見駅前広場	只見町雪むら実行委員会(只見町商工会内) ☎0241-83-1733
	自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン 七ヶ岳 山開き		館岩地域	会津アストリアロジック前
6月17(日)～23日(土) 開花状況により変更有	南郷ひめさゆりバイクミーティング	南郷地域	会津高原南郷スキー場駐車場	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
	檜枝岐釣り大会	檜枝岐村	檜枝岐川	檜枝岐村漁業協同組合(☎0241-72-8005 商工会)
6月17(日)～23日(土) 開花状況により変更有	ひめさゆり早朝撮影会	南郷地域	高清水自然公園ひめさゆり群生地	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
6月24日(日)	浅草岳 山開き	只見町	只見沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	窓明山 山開き (小豆温泉「窓明の湯」オープン記念)	伊南地域	保太橋登山口	南会津町役場伊南総合支所振興課 ☎0241-76-7715
6月30日(土)～7月1日(日)	西根川溪流釣り大会	館岩地域	木賊温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	第5回会津高原チロリアンフェスタ		会津高原地区	チロリアンフェスタ実行委員会 ☎0241-78-3075 (P.ワインズ)
7月8日(日)	三ツ岩岳 山開き	伊南地域	三ツ岩岳登山口受付	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
7月中旬	伊南川鮎釣り解禁	只見町	伊南川	南会津西武非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
7月16日(月・祝)	第7回走ってみっぺ南会津	館岩地域	南会津町(館岩・伊南・南郷地域)	会津高原リゾート(株) ☎0241-78-3099
7月21(土)～22日(日)	第33回からむし織の里フェア	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
7月28日(土)	第23回会津高原たていわ夏まつり	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
7月29日(日)	こども溪流まつり		しらかば公園	



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：5月18日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ✉webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。